

## 水資源に関するシンポジウム開催について

- 名 称** 水資源に関するシンポジウム
- 主 催** 土木学会，農業土木学会，空気調和・衛生工学会，日本気象学会，日本地下水学会，日本林学会
- 後 援** 国土庁，科学技術庁，厚生省，農林省，林野庁，通商産業省，資源エネルギー庁，気象庁，建設省，日本住宅公団，水資源開発公団，地域振興整備公団，宅地開発公団，日本下水道事業団
- 会 期** 1977年10月25日（火）～28日（金）の4日間（ただし，28日は研究旅行）
- 会 場** プレスセンターホール（東京都千代田区幸町2の2の1 日本プレスセンター）（日本コンベンションサービス株式会社 03（508）1121）
- 会議の構成**
1. 招へい外国講師による特別講演（10月25日（火）午前中）  
Dr. Abel Wolman（ジョージタウンズ大学名誉教授）  
Mr. M. Hug（フランス電力公社副総裁）（交渉中）
  2. 一般応募論文の発表-約105題
  3. パネルディスカッション 今後の水問題（仮題）  
（8月末日締切りで原稿執筆要請中につき10月上旬プログラムを作成し，参加者にお送りします）
- 内 容**
1. 水需給の長期展望
    - a. 自然界における水循環および水資源の評価.
    - b. 水需要の構造分析と将来予測.
    - c. 水資源供給量拡大の方策.
    - d. 今後の政策選定.
  2. 水資源の有効利用
    - a. 既存水利の合理的利用.
    - b. 水の再生利用.
    - c. 水量管理と制御.
    - d. 水制度.
  3. 水資源の利用と環境
    - a. 河川環境の保全と流況.
    - b. 環境アセスメントの手法.
- 参加費** 3,000円（前刷集代を含む）
- 申込方法** 参加希望者（発表者を含む）は，氏名，所属，連絡先を明記のうえ，9月30日までに

参加費を現金書留にて，東京都新宿区四谷1丁目 社団法人 土木学会内 水資源に関するシンポジウム事務局宛お申込み下さい。なお，定員がありますので満員の際はお断りすることがあります。

### 刊 行 物

1. 前刷集  
招へい外国講師の講演内容と一般応募論文（1題約6頁，総頁約600頁強）の講演概要を前刷集として印刷し，参加者に配布します。
2. 最終報告書  
シンポジウム終了後，当日の討議内容を含む最終報告書を印刷し，別に実費頒布（価格未定）いたします。

### 関 連 行 事

◎研究旅行  
期 日：1977年10月28日（金）  
行 程：霞ヶ関(9:00)→(大井松田)→三保ダム(厚木)→工業用水使用工場→相模川流域下水道右岸処理現場→(厚木)→渋谷(17:00)

参加費：1,000円

申込方法：シンポジウム申込みと同時に参加費を添えてお申込み下さい。満員の際はお断りすることがあります。

### ◎懇 親 会

日 時：1977年10月25日（火）17時～19時

場 所：プレスセンターホール（シンポジウム会場と同じ）

参加費：3,000円

申込方法：シンポジウム申込みと同時に参加費を添えてお申込み下さい。満員の際はお断りすることがあります。

### ◎地方講演会

a. 仙台市

日 時：1977年10月28日（金）13時30分～16時30分

場 所：宮城県民会館（仙台市国分町3の3の7）

- 講師：Mr. M. Hug 他1名
- b. 京都市  
日時：1977年10月28日（金）13時00分～16時30分  
場所：京都会館（京都市左京区岡崎最勝寺町）  
講師：Dr. A. Wolman 他1名
- c. 名古屋市  
日時：1977年10月31日（月）13時30分～16時30分  
場所：愛知産業貿易会館（名古屋市中区丸の内3の1の6）  
講師：Mr. M. Hug 他1名
- d. 福岡市  
日時：1977年10月31日（金）13時00分

- ～16時00分
- 場所：福岡国際ホール（福岡市中央区天神1の4の1）  
講師：Dr. A. Wolman 他1名  
参加費：4都市とも無料  
問合せ先：参加希望者は下記にお問合せ下さい。
- 仙台市 農林省東北農政局計画部技術課 0222(63) 1111 EX6196  
京都市 建設省近畿地方建設局企画部企画課 06 (942) 1141  
名古屋市 水資源開発公団中部支社総務部総務課 052 (231) 7541  
福岡市 建設省九州地方建設局企画部企画課 092 (471) 6331

## 東レ科学振興会からの科学技術賞ならびに研究助成候補の推薦依頼について

表記のことについて、下記の要領で本学会あてに推薦の依頼がありました。推薦を希望される会員は、9月15日までに、担当理事 立平良三（〒100 千代田区大手町1-3-4 気象庁予報課）までお申出下さい。

学協会の代表者。

5. 科学技術賞の贈呈  
昭和53年3月の予定。

### 第18回（昭和52年度）

#### 東レ科学技術研究助成候補者推薦要領

- 記
- 第18回（昭和52年度）  
東レ科学技術賞候補者推薦要領
- 候補者の対象  
貴学協会に関する分野で、下記に該当するもの。
    - 学術上の業績が顕著なもの
    - 学術上重要な発見をしたもの
    - 重要な発明をして、その効果が大きいもの
    - 技術上重要な問題を解決して技術界に貢献するところが大きいもの
  - 科学技術賞  
1件につき本賞：金メダル；副賞：250万円（2件以内の予定）。
  - 候補者推薦件数  
1学協会から2件以内。
  - 推薦者

- 候補者の対象  
貴学協会に関する科学技術の基礎的な研究に従事し、その研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる研究を行なっている研究者、またはそのグループ。
- 研究助成金  
総額1億円前後、1件1,000万円程度としますが、あまりこの額にとられる必要はありません。
- 候補者推薦件数  
1学協会から3件以内。
- 推薦者  
学協会の代表者。
- 研究助成金の贈呈  
昭和53年3月の予定